県労連情報

発　行
2017年
5月12日

長野県労働組合連合会（県労連）
長野市高田276-8県労連会館　TEL026-223-1683　Fax026-227-1783
メール krn@mx2.avis.ne.jp　http://kenrouren.assrv.com/

第88回メーデー

長野県中央集会が、５月１日（月）長野市ひまわり公園で開催され、労働組合や市民団体などから約１４００人が集まりました。細尾県労連議長は、主催者あいさつで、あの戦争に突き進む暗黒の時代と複雑に重なりを見せている今日の時代背景に警鐘を鳴らしました。「アベ働き方改革で、８時間労働制が崩されようとしている」「最賃の大幅引き上げ、全国一律最賃制の確立などの賃金の底上げが必要」「治安維持法の再来である『共謀罪』は廃案に」「駆けつけ警護や米艦船の防護などへ実績づくりが進む安保法制は廃止に」「米軍との共同訓練は、北朝鮮への軍事的威嚇に日本も加担する意思表示となり危険」とのべ、「政治は変えられる」という希望を語り合える社会の実現のために、野党と労働者・市民の共同を国民的な広がりに発展させることを訴えました。

杉尾ひでや参議院議員・武田良介参議院議員が挨拶に駆けつけてくれました。

参加団体や労組によるメイン企画は、アベ政治への怒りを各分野から寸劇で訴え、最後に国民の我慢も限界と全分野からのアベ退陣を求めるもので、参加者の笑いと共感を呼びました。

「８時間働けば普通に暮らせるルールの確立」や「憲法が生きる未来を次世代に確実に手渡すための草の根の取り組み」などを求めるメーデー宣言を採択し、集会後は、冷たい雨の中を元気に、デモ行進に出発しました。

上伊那地区のメーデー

参加者数は、２００名。

今年のテーマは、統一メーデーを目指す。で、連合・労組会議との統一メーデを目指しましたが、連合加盟の組合の一部に分裂時の経緯を引きずっていて、一緒には開催出来ないとの理由で、統一メーデーは実現しませんでした。５月１日（月）の平日でしたが、２００名が集まり、式典１時間４０分　その後、会場の「いなっせ」から商店街を直進し、ＪＲ伊那北駅まで３０分ほど市中行進しました。

上伊那地区　デモ行進

佐久地区メーデー

「晴天」とはいきませんでしたが、第88回佐久地区統一メーデーが佐久市猿久保の駒場公園グランドで行われました。下平集会委員長の国際的視野も含めた我々の課題を提起したあいさつをはじめ、各発言がリアルで力強く、これまでにない集中力のある集会だった思います。また、オープニングのラブ＆ピースの歌声も素晴らしく、スローガン採択や集会宣言にも工夫が見られて（下平流？）、楽しく内容の濃いものだったと感じました。初参加の佐久学園労組や、いつもよりたくさん参加した高退教の皆さん。印象に残るメーデーでした。

来賓には先頃当選した柳田佐久市長のほか、久々に社民党･柳沢佐久総支部長が参加、共産党からは大池地区委員長が壇上に並び、今井･藤岡両県会議員もあいさつしました。佐久地域で大きな共同が広がっていることも力強いことです。

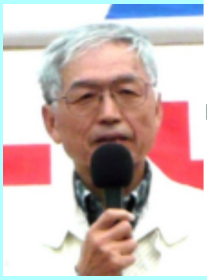
プラカードデコレーションでは佐久総合病院、小諸厚生病院が、量も質も高いものが印象的。ほかに国労のオスプレイ模型、望月さんのブラインドプラカードがユニーク。佐久ユニオン・県教組･共産党望月のプラカードが充実していました。

松本地区メーデー

第８８回松本地区メーデーが、雨がぱらつく中、松本城公園で開かれ５５０名が参加しました。初めて野党３党がそろって参加し、菅谷松本市長と共に挨拶を行いました。

来賓の右２人目から菅谷松本市長、民進党・下条さん、日本共産党・清沢さん、社民党・田口さん

共謀罪廃案、市民と野党の
共闘で社会を変えようと訴える
実行委員長の島田久雄さん



格差と貧困をなくすため、
最賃の引き上げを訴える
コープながの労組
中野恭子さん